



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和5年度第23号
令和5年11月17日(含24日分)
文責：校長 西田 英実

合格を願って！ 楽しい餅つき 皆様ありがとうございました

11月10日(金)、草野小学校の「子ども秋祭り」に、本校PTA及び生徒も参加させていただき、中学3年生の進路実現、受験合格を願って、「合格祈願餅づくり」をしました。



3学年教員のメッセージ入りです



3年生は男女とも餅をつきました

昨年度は、保護者、地域の方、そして教職員で行いましたが、今回は、受験の主人公である3年生の生徒が参加。小学校の広場でお餅をつき、中学校で紅白のお餅を小分けにし、パックに入れて完成しました。餅つき、そして、餅を小分けにする作業に生徒が加わり、関係者皆で合格を願いました。

草野地区のすばらしいところは、小学校も中学校も一緒に行事ができること、保護者、そして地域の皆様が子ども達を応援してくださるところです。大変心強く感じています。生徒からも「地域の人たちに見守られている感じがします」との感謝の声がありました。誠にありがとうございます。さあ、おいしいお餅を食べて、がんばります！

税に親しむキャッチフレーズ 表彰を受けました

11月14日(火)、「中学生・高校生の税に親しむキャッチフレーズ」入賞者への表彰がありました。市役所の担当の皆様がわざわざ学校へおいでになり、校長室で表彰を行いました。

市内では中学生が数百名応募し、10名が入賞しました。そのうち3名が本校生(2年生1人・3年生2人)ということになります。うれしいことです。表彰式で、生徒は緊張しながらもしっかりした態度で臨みました。最後の記念撮影では笑顔が素敵でした。



県PTA研究大会がありました

11月12日(日)、二本松市で福島県PTA研究大会がありました。感染症拡大防止のため各校1名参加ということで、校長が代表として参加して参りました。

始めに、これまで県内各地で活躍された方々へ表彰をしました。次に、俳優の一色采子(大山采子)氏が「演じることは生きること」と題して記念講演。一色さんは父親が日本画の代表的な画家である大山忠作さん。そのエピソードもまじえてのお話でした。おもな内容は次の通りです。



- 父親は、家業が染物屋で美的なものを見て育ったことから美術に目が開かれたかもしれない。
- 父は第二次世界大戦(太平洋戦争)で戦地に赴き、生死の境をさまよった中、奇跡的に助かった。戦後は大好きな絵をずっと描いていた。その影響か、自分は、幼い頃からきれいなものが好きだった。
- 役者になりたての頃、主役(菅原文太さん)が撮影に遅れることが何度あっても、皆がじっと待っている。その時のエピソード。あるスタッフから「何で待っているかわかる?」と尋ねられ、答えに困っていると、「文太さんは2人いないからだよ」「あなたもそういう人になりなさい」と言われた。このことが、役者として生きる決意につながったこと。

遅刻は褒められたことではありませんが、「あなたでなければできないので、この仕事を任せたい」と言われるようになること、「自分にしかできないこと、得意なことは何だろう」と考え、自分を高めていくことは、人として生きていく上でとても大切なヒントであると感じました。

分科会では、地域連携について、保護者・地域の皆様と一緒に学校づくりをする事例が報告されました。

<来週の予定>

日	曜	おもな行事
20	月	テスト前部活動なし、ICTサポーター出役
21	火	2学期期末テスト、部活動なし
22	水	2学期期末テスト、部活動可能日
23	木	勤労感謝の日
24	金	学校司書出役、くこの会総会

<さ来週の予定>

日	曜	おもな行事
27	月	実力テスト3年
28	火	SC出役、ICTサポーター出役
29	水	万本桜プロジェクト植樹1年
30	木	学校司書出役
12/1	金	学校司書出役